

観光ビジョン関係の平成31年度当初予算等について（概要）

① 平成31年度当初予算事項

○主な項目

- ・円滑かつ厳格な出入国管理体制の整備等（※）【31年度当初予算：199.1億円の内数（30年度当初予算：163.1億円の内数）】
→バイオカート・顔認証ゲートの増配備等旅客の待ち時間短縮に係る取組に必要な予算を措置
- ・FAST TRAVELの推進（※）【31年度当初予算：35.0億円】
→先端技術を活用した搭乗関連手続きの自動化・顔認証化等に必要な予算を新たに措置
- ・公共交通利用環境の革新等（※）【31年度当初予算：55.0億円】
→多言語対応、無料Wi-Fiサービス、トイレの洋式化、キャッシュレス決済対応等を一体的に整備する取組に必要な予算を新たに措置
- ・ICT等を活用した多言語対応等による観光地の「まちあるき」の満足度向上（※）
【31年度当初予算：30.5億円（30年度当初予算：11.0億円）】
→災害等の非常時も含めた観光地周辺の受入環境整備や観光案内所、道の駅の機能強化等に必要な予算を措置
- ・訪日プロモーション事業（※）【31年度当初予算：142.0億円（30年度当初予算：100.1億円）】
→グローバルキャンペーン等の先進的プロモーションの実施や、ICT・ビッグデータ等の分析・活用による個人の関心にあわせた情報発信等に必要な予算を措置
- ・文化資源（文化財等）を活用したインバウンドのための環境整備（※）
【31年度当初予算：100.0億円（30年度当初予算：5.0億円）】
→日本博を契機とした観光コンテンツの拡充やLiving History（生きた歴史体感プログラム）の支援などに必要な予算を措置
- ・国立公園満喫プロジェクト等推進事業（※）【31年度当初予算：162.5億円（30年度当初予算：117.0億円）】
→利用拠点の滞在環境の上質化や一括情報サイト構築等による海外への情報発信強化などに必要な予算を措置

（※）の事業には、国際観光旅客税財源充当事業を含む

② 平成31年度税制改正事項

○主な項目

- ・外国人旅行者向け消費税免税制度の拡充
- ・沖縄の観光地形成促進地域における課税特例延長